



我がまち大野城 “未来づくり宣言”

● 3期12年の実績を踏まえ、安心・安全で魅力あふれるコミュニティのまちづくりにさらに磨きをかけ、10万都市の豊かさを将来に引き継ぎ、さらに発展させていけるよう、わがまち大野城“未来づくり宣言”として、7つの「つながるM-Plan(エム-プラン)」と43の「施策テーマ」を掲げ、市民の皆様と共に次代のまちづくりにチャレンジしてまいります。

<つながるM-Plan.1>

子どもと家族と地域の笑顔があふれるまち “大野城” ～子育て・教育・文化・スポーツ～

- **保育所得児童ゼロプロジェクトの推進**
幼稚園の認定こども園化/認可外保育施設への支援/事業所内保育施設の推進/0～1歳児の保育定員拡充など
- **妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援**
妊娠・子育て・ひとり親に対する相談体制の充実/子育て家庭への育児・家事支援/乳児家庭全戸訪問/子育てサロンの拡充など
- **こども医療費助成制度の拡充**
窓口負担の軽減など、さらなる拡充に向けた検討(※平成28年に通院の助成対象を小学生まで(入院は中学生まで)に拡大)
- **子ども一人ひとりに寄り添った支援**
「夢とみらいの子どもプランII」を柱とした施策の着実な実行と「プランIII」の策定
- **信頼され地域に関わられた学校づくり**
家庭・地域・学校・行政が連携したPTCA活動の推進/いじめ・不登校の解決に向けた取り組みの強化/地域教育の課題や方向性を共有した総合教育会議の活性化など
- **子どもと青少年を育む環境づくり**
既存の公共施設の活用・機能の再配置/子ども食堂や青少年の居場所、学習支援の場の充実など
- **学びと育ちのための環境整備**
バリアフリーに対応した学校施設の改修/全小・中学校への冷暖房設備の導入/ランドセルクラブなどで活用する多目的スペースの整備など
- **“ふるさと愛”の醸成**
小・中学校と大野城心のふるさと館(平成30年夏開館)と連携したふるさと教育の実施/ふるさとへの誇りと愛郷心の醸成など
- **地域文化や市民文化の振興**
「(仮称)大野城市文化振興計画」の策定
- **読書活動の推進**
ブックスタート事業の推進/学校図書館の充実/まどかびあ図書館児童書コーナーの充実/公共施設を活用した貸出・返却サービスの実施/読書活動ボランティアとの連携強化など
- **地域を豊かにするスポーツライフの創造**
「大野城市スポーツ推進計画」の実行/子どもたちの発達・成長を支える基礎体力の向上/国際的なスポーツイベント(ラグビーワールドカップ2019、2020東京オリンピック・パラリンピック、2021世界水泳選手権・世界マスターズ選手権など)を契機としたスポーツ振興や地域活性化など

<つながるM-Plan.2>

健康長寿のまち “大野城” ～長寿・健康・福祉～

- **生涯現役健康都市の実現**
「大野城健康・食育プラン」に基づく施策の推進(食を通じた健康づくり/健康寿命の延伸など)
- **健康ポイントプロジェクトの展開**
40歳以上の市民を対象にポイントを付与するインセンティブ制度「(仮称)健康ポイントプロジェクト」の実施
- **地域包括ケアの推進**
地域包括支援センターの機能強化/介護・医療サービス・生活支援を合わせた地域包括ケア体制の推進など
- **介護予防・生活支援サービスの充実**
第7次介護保険事業計画・高齢者支援計画の策定/介護予防・生活支援サービスの充実など
- **元気な高齢者の就業支援**
高齢者生きがい創造センターの活用/就業を目的とした技術指導や就労相談の実施など
- **障がいのある方にやさしいまちづくり**
障がいのある方の社会参加を促進する移動支援サービスの充実/「大野城市交通バリアフリー基本構想」の見直しなど

<つながるM-Plan.3>

一人ひとりの市民力が輝くまち “大野城” ～女性・コミュニティ～

- **生き生きと輝く女性を応援**
女性活躍のための課題を踏まえた新たな「男女共同参画基本計画」の策定/女性が自らの希望や夢を実現できる「すべての女性が輝く社会」の実現に向けた取り組みなど
- **ワーク・ライフ・バランスの推進**
ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の認知度向上と理解促進
- **参加と共働による地域コミュニティの活性化**
「コミュニティ構想Ver.Ⅱ～みんなが主役のまちづくり編～」に基づく充実したセカンドステージの実現
- **社会貢献活動が盛んな地域社会づくり**
市民公益活動の見える化を図る仕組みの構築/公益活動への参加促進/ソーシャル・キャピタルの充実など
※ソーシャル・キャピタル: 社会関係資本のことで、信頼、つきあいや交流、社会参加などを要素とする。ソーシャル・キャピタルが豊かなほど、人々の協調行動が活発になり、治安、健康、幸福感などへ良い影響があり、社会の効率性が高まるとされる。

<つながるM-Plan.4>

命と暮らしを守り、自然環境を守るまち “大野城” ～安全・安心・環境～

- **命と暮らしを守る防災力・減災力の充実**
「大野城市地域防災計画」に基づく減災力・防災力の強化/的確な受援計画の策定/全世代参加の「市民総ぐるみ防災訓練」の実施/災害廃棄物の適正処理計画の策定/復旧・復興のための経費に充てる基金の積立など
- **雨に強いまちづくりの推進**
雨水基本構想の策定/急傾斜地対策/防災マップの改定/自主防災組織への支援など

● 市民の暮らしの安全を守る交番の配置

春日警察署新設に伴う効果的な交番配置の検討

● 空き家対策の効果的な展開

「大野城市空き家等対策計画」に基づく空き家対策の推進(空き家の発生抑制/利活用の促進/老朽危険空き家対策など)

● リサイクルとごみ減量を促進する仕組みの拡充・強化

コミュニティ回収の拡大などリサイクル運動の積極的な展開/生ごみの使い切り・食べ切り・水切りの「3切り運動」の推進/食品のロスを減らすための「3010(サンマルイチマル)運動」の展開など

● 里山保全・活用プロジェクトの推進

第1種自然環境保護区域の公有化/間伐等による森林保全の推進/(公財)おおのじょう緑のトラスト協会との連携と「(仮称)里山活用及び生きもの保全計画」の策定など

<つながるM-Plan.5>

快適な都市空間を創造するまち “大野城” ～都市・建設～

● 連続立体交差事業を見据えたまちづくり

西鉄天神大牟田線連続立体交差事業(平成33年完成予定)を見据えた高架下の有効活用プランの策定/中心市街地のにぎわいと回遊性向上策の実施など

● 安全・快適な暮らしを支える都市機能の充実とライフライン対策

西鉄天神大牟田線連続立体交差事業の推進/都市計画街路事業の推進/乙金第二土地区画整理事業の推進/ストックマネジメントによる下水道施設の長寿命化/水道施設の耐震化など

● 公園管理の弾力的運用による有効活用

地域住民等による公園の共益的な活用・管理による弾力的な運用/使われない公園の有効活用など

● 安全・安心な道路の確保

「路面空洞調査」の計画的な実施/危険箇所の早期発見/道路側溝の蓋かけ促進/道路陥没事故の未然防止など

<つながるM-Plan.6>

ふるさとのにぎわいと魅力があふれるまち “大野城” ～にぎわい・産業～

● 地域資源の魅力と都市インフラを活かしたシティプロモーションの展開

魅力ある地域資源や都市の利便性など大野城市の強みを活かした戦略的なPR展開/「知ってもらおう→来てもらう→好きになってもらう→住んでもらおう」という定住促進の好循環を創出/「(仮称)大野城市シティプロモーション戦略」の策定など

● シビック・ゾーンを核としたにぎわい創出と防災機能の拡充

シビック・ゾーン施設の機能連携/快適で安全な回遊手段の確保/新たなにぎわいを生み出す整備/災害発生時の本部機能や応急復旧活動を担う防災拠点化など

※シビック・ゾーン: 市庁舎を中心とした公共施設などが集中的に立地する区域で、市庁舎、心のふるさと館、まどかびあ、総合福祉センター、大文字公園、すこやか交流プラザをエリアの範囲としている。

● にぎわいづくりを核とした商工業の振興

交流人口の拡大/(一社)大野城市にぎわいづくり協議会と商工業者との連携強化/商工業の振興策の実施/大型商業施設や宿泊施設を核とした訪問・滞在型の都市づくりなど

● 都市型農業の多面的機能の活用

新たな農業委員会制度を活かした都市農業の振興/農産物直売所への出荷支援/地産・地消による食育の推進/季節の変化を感じる風景の形成/市民農園など教育・学習・体験の場の提供など

● スムーズな移動と利便性を確保するサイン整備

「(仮称)大野城市サイン計画」の策定/分かりやすく、統一性のあるユニバーサルサインの整備など

<つながるM-Plan.7>

市民に信頼され自立し創造するまち “大野城” ～自治体経営～

● 将来の「まちの姿」を描く10年計画の策定

第6次大野城市総合計画(平成31年からの10年計画)の策定

● 持続可能な行財政の確立

市民の安全・安心な生活と福祉の向上/持続可能かつ機動的で足腰の強い財政の確立/さらなる適正運用のための入札契約制度の改革/地元産品開発や市のPRにつながる魅力あふれるさと納税制度の創設など

● ファシリティマネジメントによる公共施設管理

「大野城市公共施設等総合管理計画」による施設の整備・改修の促進/最小のコストで最大の効果を発揮する経営資源(ファシリティ)の管理・活用など

● 働き方改革に向けた環境整備の推進

家庭生活の両立、女性のキャリア形成や男性の家庭参画の推進/課内における仕事の「見える化」促進や長時間労働の是正など「働き方改革」「休み方改革」の推進

● 信頼される市役所づくりのための職員育成

「市民力・地域力」との共働意識を培う「職員力向上計画」の策定/中期的な職員採用方針の策定と計画的な定員管理など

● 広報戦略の充実による情報発信力の強化

SNSなどを活用した広報活動の充実/「お知らせ型広報」から、市民とのパートナーシップによる「対話型広報」への転換/「(仮称)大野城市広報・広報戦略プラン」の策定など

※SNS: ソーシャル・ネットワーク・サービス(social network service)の略。フェイスブックやツイッター、LINE(ライン)などインターネット上で人々が共通の話題や趣味を通じて交流するネットワーク型サービス。

● 都市間連携による相互支援・交流の活性化

災害時の連携し相互支援体制づくり/連携・交流自治体の拡大/友好交流都市締結を視野に入れた相互理解の構築など

★つながるふるさと



私の決意

我がまち大野城“未来づくり宣言” 井本むねじ

私は、3月市議会において次期市長選挙への4期目の挑戦を表明いたしました。後援会並びに市民の皆様、そしてご推薦をいただいている数多くの団体・グループのメンバー各位には、変わらぬご支援ご協力を衷心よりお願い申し上げます。

さて、これまでの私の道りを振り返ってみますと、まず、九州生産性本部では、労・使・学の三方向から「企業経営の神髄」というものをじっくりと学ぶことができました。39歳で初当選した福岡県議会においては、二元代表制のもとでの合意形成プロセスの厳しさに触れ、「民主主義とは手間ひまをかけるもの」という先輩の指導を体全体に染み込ませることができました。私にとっては、この間に培った多くの経験と縦横につながる人脈こそ、自治体経営のトップマネジメント遂行にあたって最高の財産となっています。

市長に就任以来、先例を精査し、しくみを変え、人事には先入感を排し、国内最高のサービスを提供する自治体目指して、私は市政に取り組んでまいりました。今日の成熟化した社会構造の中では、少子高齢化への対応や老朽施設の整備、さらには、危機管理施策の充実が強く求められています。ここに、4期目の立候補にあたって、『我がまち大野城“未来づくり宣言”』をマニフェストとしてとりまとめましたので、ご高覧いただきますと幸甚に存じます。

市政に対する全力投球は、これからも続きます。ここに、夏の陣への格段のバックアップを重ねてお願い申し上げます。



河川環境美化活動「御笠川・牛頸川・平野川フェスタ」【H27年11月8日】



「アジア・太平洋子ども会議・イン福岡ホームステイ受入事業」でニュージーランド団市長表敬訪問を受ける【H27年7月14日】



「まどかフェスティバル」【H27年11月7日】

★みんなが主役



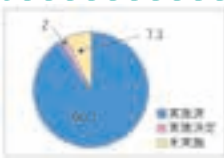
大野小学校での「大野小創立125周年記念タイムカプセル開封式」【H27年10月17日】



まどかびあ多目的ホールでの「男女共生フォーラム」図画ポスター・標語コンクール表彰式【H27年3月7日】

井本むねじプロフィール

- 家族 妻と1男2女。孫4人。母89歳。
- 趣味 野球、ゴルフ、読書。
- 性格 バイタリティあふれる学究的行動派。計画性・先見性が豊かで、融和とプロセスを重んじる。決断力は抜群。
- 好きな言葉 「愛郷・献身」「感謝一念」「知行合一」「あなたのこれからが、あなたのこれまでを決める。」



数字で見る井本市政
3期12年の実績

井本宗司市長が市長に就任したのが平成17年9月、これまで一貫して「市民が主人公」、「愛郷の精神」、「先手先取の対応」を信条に、市民の皆様にご約束した施策の実現に果敢に取り組む、平成28年には日経ビジネス誌の「活力ある都市ランキング」で、全国第2位に選ばれるなど、大野城市を福岡都市圏の中堅都市として着実に発展させてきました。そこで、「数字で見る3期12年の実績」について、まとめました。

分野	項目	H18	H23	H27	成果
コミュニティ	大野城市の人口	93,381人	95,977人	99,322人	平成28年8月に10万人達成
	審議会等への女性登用率	21.6%	32.1%	43.6%	22%アップで目標の40%を達成
	コミュニティセンターでの諸証明発行件数	16,416件	27,601件	35,308件	2倍以上増加
教育・文化	小・中学校の学校図書館の蔵書数	173,605冊	197,425冊	208,015冊	3万4千冊以上増加
	学校施設の耐震化率（主要構造部）	20%	100%	100%	100%を達成
	図書館貸出し冊数	824,477冊	942,804冊	986,890冊	16万冊以上増加
産業・経済	市中小企業融資制度での融資実行件数	246件	276件	291件	45件増加
健康・福祉	保育所の定員数	1,505人	1,549人	2,003人	約500人増加
	シニア大学山城塾の受講人数	—	85人	209人	平成23年度に開講
	介護予防教室参加者数	4,510人	4,360人	5,950人	30%増加
	地域密着型サービス施設の整備数	6施設	17施設	19施設	3倍増
環境・安全	市民一人あたりのごみ排出量	610g	569g	546g	64g減量
	災害時応援協定を締結した事業所等の数	3件	7件	26件	23件増加
	市内での刑法犯発生件数	2,065件	1,266件	993件	1,000件以上減少
都市・建設	第1種自然環境保護区域の市有化面積	624,418㎡	860,642㎡	1,129,109㎡	50万㎡以上増加
	西鉄連続立体交差事業の進捗率（事業費ベース）	7.48%	26.67%	58.74%	着実に進捗
	都市計画道路の整備済延長	30,566m	32,757m	40,121m	約9.5km延伸
	都市公園面積	1,069,335㎡	1,227,171㎡	1,236,340㎡	約167千㎡増加
	コミュニティバスまどか号の年間利用者数	428,201人	446,859人	467,129人	約38,900人増加
	雨水幹線の整備延長	170m	1,240m	2,380m	2km以上延伸
	雨水流出抑制施設の整備箇所数	1箇所	5箇所	9箇所	予定箇所すべて整備完了
地域経営	市ホームページへのアクセス件数	1,111,420件	1,352,419件	1,541,513件	40%近く増加
	財政力指数	0.74	0.79	0.79	政令指定都市を除く県内市第1位 ※1に近いほど財政に余裕がある。
	経常収支比率	91.0	91.3	84.9	改善※高いほど財政構造が硬直化している。
	市民一人あたりの市債残高	317,663円	272,523円	224,252円	93,411円減少

推薦します



井本むねじ後援会会長 牧山恭久

暑い夏の陣が近づいてまいりました。大野城市長として3期12年、今日まで井本むねじ氏を陰日向なくお支えいただきました後援会の皆様のご厚情に、改めまして深く感謝申し上げます。

さて、井本むねじ氏が市長就任以来、次々と展開されてきたハード、ソフト両面の政策は、いまや全国的に高い評価を受け、これからは、これまでの成果をいかに次の世代につないでいくか、大野城市にとっても大事な時期を迎える4期目の4年間となります。「愛郷」と「献身」を常に座右に置き、全身全霊をもって市勢充実に取り組む井本むねじ氏の必勝めざして、万全の体制で後援会活動を進めてまいります。何卒、倍旧のお力添えを賜りますよう、伏してお願い申し上げます。



福岡県知事 小川洋氏

井本宗司市長は、就任以来、「市民が主人公」の基本姿勢を貫き、人口10万人達成、子育て環境の整備、市民の目線に立った総合窓口の設置など大きな成果をあげておられます。

また、渋滞の解消と安全性の向上を図る観点から、長年の懸案となっていた西鉄大牟田線連続立体交差事業や県道飯塚大野城線の4車線化も、井本市長の御協力により、着実に進んでいます。

井本市長が大野城市の更なる発展のため益々御活躍されることを大いに期待しています。



福岡県議会議員 井上順吾氏

井本宗司市長は県議会議員を、そして私は公務員の職を共に辞して、故郷大野城のためにと誓った選挙から、既に12年の歳月が流れました。愛する故郷を更に伸ばし次の世代に引き継ぐことが共に描いた私たちの志でした。ひとすじの道を貫き、実践する姿は真に私の師であります。大野城市を更に、さらに発展させるため、4期目にかける井本市長の大きな、おおきな市政グランドデザインを期待しながら推薦の言葉といたします。



福岡県議会議員 井上博隆氏

井本むねじ市長が、先人達の想いを大切にしながら、大野城市のために尽くしてきた一つの帰着点が、昨年受賞した日経ビジネス誌の「活力ある都市ランキング」全国2位と、大野城市史上初の人口10万人突破であったと確信しています。井本市長が新たな4期目のスタートに際し、どのような策を示し、そしてどのように大野城市を引っ張って行くのか、只々楽しみで仕方ありません。井本むねじ市長の4期目に心から期待しています。

井本むねじ市長の4期目に心から期待しています。

井本むねじ後援会役員

会長	牧山 恭久
副会長	城戸 賢児 原久利 原文彦 手塚 隆行
顧問	花田 稔雄 山上 成邵 古賀 茂實 村上 恵一 関 邦弘 浅川 茂敏 桑野 建治 瀧 洋之介 小谷 信彦 馬場 清子 添島 未智子 松田 孝一
相談役	船越 眞一 瀬戸 明 川辺 勝滋 永野 義人 佐藤 義廣 香野 信儀 岡部 和子 神野 芳行 古賀 健一 木村 文夫
瓦田後援会	(会長)花田 一之 (副会長)藤 健吾 末永 俊英 畑 善三郎 瀬利 徳 (事務局長)北崎 浩 (青年部長)藤 尚憲
市議団	田中 健一 天野 嘉久孝
宗和会	(会長)中田 泰之 (副会長)佐藤 章成
七日会	(会長)三上 博文 (副会長)江藤 国義 古賀 吉紀
団体	(商工)花田 稔之 (医療)石橋 正彦 (福祉)岡 主幸 (スポーツ)関 明廣 (文化)長澤 幸司 (自民)藤 嘉昭 (農政)古賀 昭人



わたしの略歴書

- 昭和27年(1952年) 筑紫郡大野町、現在の^{大野}大野城市に生まれる(65才)。大野小学校、大野中学校、筑紫丘高校、早稲田大学政治経済学部卒業。
- 昭和52年 財団法人九州生産性本部入社、経営学、労使関係などを研究調査する。その間、九州共立大学非常勤講師も務める。
- 平成 3年 福岡県議会議員初当選
- 平成 9年 福岡県議会警察常任委員長
- 平成13年 九州国立博物館設置対策調査特別委員長
- 平成14年 議会運営委員長
- 平成15年 5月/第56代福岡県議会議員に就任(平成17年2月まで)
- 平成17年 9月/第4代大野城市長に就任
- 平成21年 9月/市長2期目再選
- 平成25年 9月/市長3期目再選



平成3年県議初当選



平成15年福岡県議会第56代議長就任



平成17年 第4代大野城市長就任



平成24年 大野城市制施行40周年記念式典

これまでの地域での主な活動(平成29年5月20日現在)

- 大野小学校PTA会長(百周年事業実行委員長)(平成3年4月まで)
- 筑紫丘高校PTA会長(七十年事業実行委員長)(平成13年4月まで)
- 福岡県綱引連盟会長(平成17年9月まで)
- 福岡県勤労者野球連盟名誉会長(平成26年1月まで)
- 筑紫丘高校同窓会役員(現職)
- 福岡稲門会会員(現職)

現在の公職

- 福岡県市長会 副会長
- 福岡県自治振興組合 管理者
- 福岡都市圏広域行政事業組合 幹事
- 春日大野城那珂川消防組合 副組合長
- 大野城太宰府環境施設組合 組合長
- 春日大野城衛生施設組合 組合長
- 福岡都市圏南部環境事業組合 副管理者
- 筑慈苑施設組合 副組合長



多くの出会いがありました



まどかびあ多目的ホールで開催された「さんでー広場」でのふれあい【H27年7月19日】



月の浦西公園ビオトープに子どもたちと一緒にほたるの幼虫を放流【H27年3月4日】



牛頸浄水場での「春の植樹祭」【H27年4月2日】



「飯塚大野城線・現人橋乙金線完成式典」でテープカット【H27年3月29日】



まどかパークで開催された「大野城跡フェスタ」【H27年8月2日】



井本むねじ後援会「宗和会」主催の講演会。講師は元衆議院議員太田誠一氏【H28年10月20日】



井本むねじ後援会・青年の会「七日会」主催のボーリング大会。【H29年1月7日】



「第18回つくし路100km 徒歩の旅」で子どもたちを激励【H27年8月12日】